

### ■米国：加州議員、2040年以降の新車はゼロエミッション車限定を要求

2018年1月3日現地報道によると、カリフォルニア州議員 Phil Ting 氏は、2040年1月1日以降に同州で登録されるすべての新車を、ゼロエミッション車（ZEV）に限定すべきとする「クリーンカー2040法」（AB 1745）を州議会に上程した。輸送部門は同州の温室効果ガス排出量の約40%、また自動車や軽量トラックが、そのうちの70%を占めている。2015年10月の同州の「クリーン・エアー・フューチャー」報告では、2015年に同州では、呼吸器疾患、早期死亡、労働機会の喪失などを含め、乗用車による温室効果ガスの排出と大気汚染による費用が150億ドルに達すると推定されている。今回の法案 AB 1745 は、2040年1月1日以降のすべての新車登録がゼロエミッション車であることを求めている。同法案では、ゼロエミッション車として、あらゆる可能な運転モードまたは条件の下で、空調システムからの排出を除いて、任意の指定大気汚染物質または温室効果ガスを排出しない車輦と定義している。なお法案では、同法は車重4t半以上の商用車には適用されず、かつ同州に他州から移住してきた住民に対しては、所有車が ZEV でなくてもそのまま所有することができるとしている。